

平成25年度の体罰に係る実態把握について(公立学校分)

平成 24 年度の体罰に係る実態調査の結果、新たに 75 件の体罰を把握したことや、平成 25 年度においても依然として体罰が後を絶たない状況を踏まえ、体罰事故の正確な把握と事故防止の徹底を図ることを目的として、引き続き平成 25 年度における体罰に関する実態調査を実施し、併せて外部指導者等に係る暴力の状況について、調査結果をまとめたので報告する。

I 道独自調査に係る調査結果概要

1 調査対象等について

平成 25 年度に発生した体罰に関し、道立学校及び札幌市を除く市町村立学校（道立学校 268 校、市町村立学校 1,500 校）の教職員、スクールカウンセラー、保護者、並びに中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校中等部・高等部の生徒を対象に、体罰の有無等についてアンケート調査を実施し、調査対象者数約 58 万人のうち、約 38 万人から回答を得た。

2 報告項目等について

(1) 報告項目

アンケート調査により新たに把握した体罰の件数及び被害を受けた児童生徒数、体罰が行われた場面、体罰の態様、被害の状況、把握のきっかけ等。

(2) 報告概要

別紙のとおり

※平成 25 年度中に発生した体罰件数

	道教委に報告 があったもの	調査で判明 したもの	合計
体罰件数	28 件	18 件	46 件

3 今後の対応

今回把握した体罰に対しては、詳細に事実関係を調査した上で、厳正に対処する。また、体罰防止に向けて教職員にコンプライアンスの徹底を図るよう全道をあげて取り組んでいく。

II 外部指導者等に係る暴力の状況

発生していない。